

クリニカルパスウェイ 腰椎椎間板ヘルニアの手術を受ける患者さんへ

2016年4月作成
東京慈恵会医科大学附属第三病院

患者番号 @PATIENTID 患者氏名 @PATIENTNAME

	外来	入院日	手術当日	手術翌日	術後2日目	術後3日目～退院日	外来診察日
日時	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
目標	☐ 手術の説明を受け、理解できる ☐ 中止する薬が分かる	☐ 手術の必要性が理解でき、手術に同意している	☐ 麻酔・手術に対する不安が最小限となる ☐ 傷の痛みや他の苦痛が軽減する	☐ 患部の熱感や痛みが最小限である ☐ 深部静脈血栓の兆候がない ☐ 安全に安静度が拡大できる ☐ 痺れなど神経障害を起こさない	☐ 患部の熱感や痛みが最小限である ☐ 創の感染兆候がない ☐ 痺れなど神経障害を起こさない	☐ 痺れなど神経障害を起こさない ☐ 次回外来日が分かる ☐ 日常生活上の注意点がわかる ☐ 内服薬について理解できる	
食事	制限はありません 	21時以降は食べられません 経口補水液または飲水を20時から翌日6時まで摂取していただきます	飲食できません 	朝飲水を行い、むせ込みがなければ、朝食からお粥がです 昼から米飯になります	制限はありません (状態によって制限がかかる場合があります) 	制限はありません (状態によって制限がかかる場合があります)	
活動	制限はありません		術後ベッド上で安静です 	コルセットを着用し歩行が出来ます 始めは看護師と一緒に歩きます	制限はありません 	制限はありません	
検査処置	手術に必要な血液検査、心電図、レントゲン、肺活量などの検査があります 	必要に応じて採血の検査が入ります 	手術着に着替えて、弾性ストッキング、使い捨てパンツをはいて手術室に入ります	お小水の管を抜きます 血液検査、レントゲン、傷の消毒(適時行います) 弾性ストッキングは医師の指示があるまで履きます	傷を消毒します	医師の診察後に退院となります 	
薬	指示が出た薬は中止になります 休止期間: / ~ /	・持参したお薬は確認しますので看護師にお渡しください ・入院時、現在服用中の薬は一週間分お持ちください	・麻酔科医師からの指示で朝6時に薬を飲む場合があります ・術後より点滴があります	・医師からの指示で中止していた薬を再開します ・痛み止めの薬が処方されます ・抗生剤の点滴が3日間あります 			
清潔	制限はありません	清潔を保つため入浴またはシャワーを浴び、爪を切ります	手術後は尿の管が入ることがあります。管が入っていない場合は尿器や差し込み便器で排泄をすることとなります	清拭を行います			
指導説明	体調の変化があった場合は整形外科外来にご連絡ください	・看護師から入院と手術の説明があります ・薬剤師から薬の指導があります ・麻酔科の医師の診察があります	・痛みがある時、眠れない時は看護師にお伝えください ・手術後主治医より手術結果について説明があります 			・退院日は状態によって異なりますので医師と相談して決めていきます ・退院後は医師の許可があるまで飲酒を控えてください ・入浴、シャワーについては退院前に指導します	外来予約日 月 日 (:) 